

# 姫路医療センターさくらんぼクラブ通信

さくらんぼクラブは、がん患者さんとご家族のための会です

2011年7月 第17号

## 6月のさくらんぼクラブ

6月のさくらんぼクラブには、初参加の方2名を含む10名の参加者がありました。内訳は男性2名、女性8名、年齢は40才代～80才代まで、部位別では乳がん6名、肺がん2名、患者さんのご家族が2名でした。平日の午前中開催なので、仕事を持っている方の参加はいつも少なめです。

会の開催される10時～12時までずっと居られなくても、都合のつく範囲で参加される方も多いです。例えば診察の前後、放射線治療や化学療法を終えてから来られたり、また「今から遊びに行くので」と早退された方もありました。たとえ短時間であっても、気になっていたことを話したり聞いたりするだけでずいぶん気持ちが晴れるものです。

出入りする人があるたびに座席が変わることも、いろいろな人と話すきっかけになります。また、話したくないが病院の中で病気に関係ないことで気を紛らわせたいという方には、「手作業をしながら談笑するテーブル」がおすすめです。ちょっとした小物を作りながら緊張感をゆるめることができればいいですね。用意はこちらでしていますので、どうぞ手ぶらでお越しください。



## 自毛デビュー

「カツラや被り物のわずらわしさと早く決別したい」という気持ちは、脱毛を経験した患者は皆同じ気持ちでしょう。時には「間もなく自毛で外出可能な日が近い」患者同士が、そっと被り物を外して見せ合う、ということもあります。

外の世界ではなかなか勇気のいることですが、ここには経験者も多くいるので、思い切って一歩踏み出せます。



## 今後のさくらんぼクラブの予定

2011年7月22日(金)

2011年8月26日(金)

2011年9月30日(金)

9月23日は祝日のため、第5週に変更します。

2011年10月28日(金)

2011年11月25日(金)

**時間は 10:00～12:00 です**

## 節目

初めて来られた女性(乳がん)は、術後の放射線治療がその日で終わり、また、久しぶりの参加だった女性(乳がん)は1年目の検査がどれも異常なしとわかったばかりだとのことでした。どちらの方の喜びも患者同士ならよくわかります。「おめでとう」「よかったね」と皆自分のことのように喜んでいました。

## 不安

病室から車イスで参加された方はその日の午後、確定診断や今後の治療を主治医から聞くとのことで、とても緊張されていました。疾患の部位が違くと知らないことも多く、「自分(の部位)だけが辛いんじゃない」ということに気付かされます。お話したことで、今後の治療に向けて緊張感が少しでも和らいだのであれば良いのですが、うまく治療が進むことをお祈りしています。

## 島根県へ！「がんサロン支援塾」

### ～ がん患者団体助成金 報告 ～

読売正力厚生会ががん患者団体助成金の使用目的の一つとして、「先進団体の視察」をあげていますが、いろいろと思案した結果、島根県で9月17、18日に開催される「がんサロン支援塾」に参加することにしました。さくらんぼクラブからは、代表者3名が参加します。

島根県は、「7位1体(患者・メディア・県議会・医療現場・行政・産業界・教育)」が特徴的で、がんの患者・家族が集まって療養体験を語り合う「がんサロン」が22カ所もあります。もちろん、私達さくらんぼクラブをはじめ、全国にはたくさんの患者会・患者サロンがあるのですが、行政がこんなに携わっている県はめずらしいと思います。兵庫県に関しては、患者会・患者サロンの実態把握すらしていないのが現状です。多くのがんサロンに携わった納賀良一さんが主となって開催してくれる「支援塾」で、副題となっている「島根がんサロン そのパワーと秘訣」をしっかり学び、さくらんぼクラブの今後の運営に役立てていこうと思っています。内容は右記のとおりで、難しい内容だったらどうしようと不安もあったのですが、患者視点から表現するとのこと、また何より納賀さんの明るい大阪弁に後押しされ、一歩前進！です。

また、支援塾での勉強を元に、近隣のがん患者団体の実際のサロンの見学なども考えています。助成金の予算が許す限り、実現したいと思います。

### がん相談支援室です！



さくらんぼクラブでは、いろいろな悩みを共有したり、体験に基づいた具体的な対処法を伝え合ったりしています。でも、同じがんであっても、それぞれの人で治療内容や療養生活の状況は違います。ほかの人に合った治療法や対処法、療養生活の過ごし方が必ずしも自分に合うとは限りません。特に医学的なことは主治医・担当医に必ず相談するようにしましょう。がん相談支援室にもお気軽にご相談下さい。あなたの抱えている悩みが少しでも軽くなるようにお手伝いいたします。ご利用お待ちしております。

### ★ がんサロン支援塾 ★

#### 「島根がんサロン そのパワーと秘訣」

##### ～ 内容 ～

島根の7位1体から得るものとは

…患者たちからの発信

1. サロン開設、運営に当たって何が必要か
2. 情報の受信、発信について思うこと  
発信に強くなるには  
受信に強くなるには
3. メディアの皆さんとの付き合い方
4. 医療現場との付き合い方
5. 行政との付き合い方 5カ条
6. 議会との連携の仕方
7. 産業界との連携
8. 教育との関わり方

#### 申請した事業内容

1. 患者会を広く知ってもらうための小冊子作成
2. 先進団体の視察

選考の委員の方から『先進事例の見学にとどまらず、見学を通じて得た学びをクラブの事業に反映させて欲しい』とのコメントをいただきました。